

国外実態調査報告書

テーマ : 国立故宮博物院と企業訪問
ゼミ名 : 栗原 文子 ゼミ
調査日 : 2024年1月30日(月)~2月2日(木)
調査先 : 【台湾】Yunbao Energy Technology Co., Ltd など
授業科目名 : ベーシック演習 I・II
参加学生数 : 11名(1年生)

調査の趣旨(目的)

今回の調査の目的は3点あった。まず、中国の歴代王朝が収集した美術品を収蔵する国立故宮博物館を訪ねること。2点目は、J&V Energy Technology を訪問し、企業説明と質疑応答、さらに、StarWorks Entrepreneurial Venture Capital と StartUp Fund のCEO により事業についてお話を伺い質疑応答をすること、3点目は、現地の台湾人の方々と夜市や地元の飲食店を訪れ、交流しながら、日本とは異なる食文化を体験することであった。

調査結果

学生の振り返りレポートから一部引用し、調査結果の報告とさせていただきます。

【企業訪問】

- ・ソーラーパネルの真ん中の池でエビや魚を育てていて、そこでも利益を出さなければいけないという話が印象的だった。youtuber を使って宣伝をしたり、様々な工夫をしていることを知った。ただ投資をしたり、土地を買収してソーラーパネルを置くのではなく、元々あったものを活用しているのが、エコでいいなと思った。
- ・再生エネルギー発電のための投資などを行っていく中で、電気を発電するだけでなく養殖や農業もソーラーパネルを設置している下で行う必要があると知った。養殖されているエビがすごく大きかったことに驚いた。また、起業家の話で、台湾の若者の悩みとしてやりたいことがないというようなことが挙げられていたが、日本人の私も感じていることで同じことを感じていることにびっくりした。
- ・人材育成に力を入れているということ。投資を通して大きくなっていること。
- ・日本の学生と比べて行動力が桁違いに違ったこと。
- ・J&V energy では、太陽光や水力など持続可能なエネルギーを利用して様々な事業を行っているということが印象的だった。特に、養殖と発電を同時に行なうということに驚いた。また、企業を経営する際に、friends, fool, family の3F が重要であることを知り、興味深い考え方だと感じた。
- ・Starworks の方の話では、現在の若者は何もしないで価値のある機会を逃しているという lying flat ということが印象に残った。また、自分もそうであると気づかされた。そのため、今後は様々な機会を逃さないように行動していこうと思った。

【その他】

- ・日本でも異文化のことを学んでいたが、実際に海外に行ってみないと分からないことが沢山あることがわかった。会社訪問では、もっと積極的に質問など出来れば良かったなと思った。もし次にこのような機会があったら、英語をしっかりと勉強してリベンジしたいと思った。
- ・世界をもっと旅したいと思った。今まで外国に対してマイナスのイメージをもっていた。でも実際行ってみて、価値観が広がることばかりだった。自分がこれから成長するために外国は行くべきだとおもった。
- ・台湾に実際に行ってみて、現地の人々が優しく話しかけてくれたり教えてくれたりしたことが嬉しかった。バイクがとても多いことや、駅前のホームレスが多いこともびっくりした。IT 関連が発達したイメージを持っていて全体的に都会だと思っていたが、そうではなく経済的な面でも人々に大きな差があるのかなと感じた。南国風の木やシーサーのような置物があったりと沖縄のような雰囲気もところどころ感じた。日本企業のお店が多いことに驚いた。
- ・食べ物では、食べ物の香辛料や、飲み物が甘いところなどから日本とはやはり違う食文化があると実感した。
- ・2ヶ国語以上話せる人が多くてとても驚いた。

